

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	助田 陽一	会員番号:	12995	事務局整理記入欄	北海道 - 166
分水嶺区分	P1303m越えコル～P1451m尾根(H073とH074の間)	(3) 山行日:	2005年	4月	10日	(4) 天候	高曇り後吹雪

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
助田 陽一	12995	大崎 勝子	13269				
助田 梨枝子	12996						
田島 祥光	13056						
北守 清	13077						
計			5名	計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	P1303越えコル～P1245～P1451尾根でC2												
アプローチ:	帯広～三国峠～石北峠												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点	P1303m越えC1	石北峠	143	9	9.7	43	37	19.9	1,297	7:30	7:30	B-4	(9)
	P1245m越え	々	143	8	14.8	43	36	31.5	1,292	10:05	10:15	B-4	(9)
	岩峰稜線越	々	143	8	15.0	43	35	54.7	1,470	13:40	13:45	B-4	(9)
分水嶺離別点	P1451m尾根	石北峠	143	8	24.7	43	35	47.3	1,527	14:15	14:15	B-4	(9)
歩行終了点	P1451m尾根C2	々	143	8	19.9	43	35	45.8	1,506	14:20			
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間15分	
分水嶺距離												3.8km	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点


(9) 水および植生に関連した特記事項

針葉樹、ダケカンバ、白樺などの混交自然林、シャクナゲの木が多く見られた

(10) その他の特記事項

午前中は高曇りの天候がC1から分水嶺を歩きながら三国山を遠望することが出来たが、正午ころより天候が急変、雪から吹雪となりホワイトアウトの状態で見界は数メートルとなる。P1451mへの尾根で、留守宅ほかへ連絡がいたので予備日を使うことを早々に決定行動を止めた。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: